

エコアクション21 環境活動レポート 2014



第12期

対象期間 2014年7月～2015年6月

2015年 8月25日作成

Techno-Tsukihoshi 

株式会社 テクノ月星



目次

組織の概要	3
認証・登録の対象範囲	3
環境方針	4
環境目標	5
環境活動計画	6
環境目標の実績	7～9
環境活動計画の取組結果と評価	10～11
来年度の環境活動取組みの計画	12
環境関連法規の確認並びに違反、訴訟等の有無	13
代表者による全体評価と見直しの結果	14

1. 組織の概要

(1)事業所名 代表者氏名	株式会社 テクノ月星 代表取締役 井上 定男									
(2)所在地	本 社 〒839-1498 福岡県うきは市浮羽町高見 215 番地									
(3)環境管理責任者 担当者連絡先	総務部 部長 樋口 勝範 TEL 0943-77-2141 総務部 工務課 石橋 誠二 TEL 0943-77-3020									
(4)事業の概要	工業用エラストマー製品の設計・開発及び製造 主要製品： ゴムガスケット、ゴムスリーブ、ゴムホースなど									
(5)事業の規模	総製品出荷額： 2,393百万円(平成27年6月期) <table border="1"><thead><tr><th></th><th>単位</th><th>本 社</th></tr></thead><tbody><tr><td>従業員数</td><td>人</td><td>157人</td></tr><tr><td>床面積</td><td>m²</td><td>26,824</td></tr></tbody></table>		単位	本 社	従業員数	人	157人	床面積	m ²	26,824
	単位	本 社								
従業員数	人	157人								
床面積	m ²	26,824								
(6)事業年度	7月～翌年6月									
(7)法人設立年月日	平成16年4月1日									
(8)資本金	90 百万円									

2. 認証・登録の範囲

(1)事業所名 所在地	株式会社 テクノ月星 〒839-1498 福岡県うきは市浮羽町高見 215 番地
(2)関連事業所	なし
(3)活動	工業用エラストマー製品の設計・開発及び製造



3. 環境方針

環 境 方 針

<環境理念>

株式会社テクノ月星は、工業用ゴム・樹脂製品の設計・開発、及び、製造・販売を通じて、地球環境への負荷を低減し、持続可能な社会づくりに取り組めます。

<行動指針>

- (1) 節電と省エネルギー化に努め、二酸化炭素排出量を削減します。
- (2) 廃棄物の削減及び再資源化に取り組めます。
- (3) 節水に努め、水使用量を削減します。
- (4) 化学物質使用量の削減と適正管理に努めます。
- (5) グリーン購入、グリーン調達に取り組めます。
- (6) 生産の効率化に取り組み、環境配慮に努めます。
- (7) 環境関連法規及び、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

制定日：平成 23 年 9 月 1 日

株式会社 テクノ月星

代表取締役 井上定男

4. 環境目標

環境目標 (単位)	基準値 平成.22年度	当年(H.26年)度 目標値	H27年度 目標値	H28年度 目標値
二酸化炭素排出量の削減(g-CO ₂ /千円)	1,515	1,455 4%削減	1,439 5%削減	1,424 6%削減
電力使用量の削減(kwh/千円)	1.316	1.260 4%削減	1.248 5%削減	1.237 6%削減
A重油使用量の削減(ℓ/百万円)	358	344 4%削減	340 5%削減	337 6%削減
ガソリン使用量の削減(ℓ/百万円)	7.00	6.72 4%削減	6.65 5%削減	6.58 6%削減
灯油使用量の削減(ℓ/百万円)	13.61	13.07 4%削減	12.93 5%削減	12.79 6%削減
廃棄物排出量の削減(g/千円)	167	160 4%削減	158 5%削減	157 6%削減
水使用量の削減(m ³ /千円)	0.137	0.131 4%削減	0.130 5%削減	0.129 6%削減
化学物質の適正管理	— —	適正管理	適正管理	適正管理
グリーン購入/調達	— 6件	前年より1件増	前年より1件増	前年より1件増
生産効率化の取組み (化成品浮羽工場) (円/hr)	6,422	6,679 4%アップ°	6,743 5%アップ°	6,807 6%アップ°

二酸化炭素排出量削減において、購入電力の排出係数は、0.369Kg-Co2/kwh(H21年度九州電力)を使用しました
※単位は生産金額当り

5. 環境活動計画

(1) 二酸化炭素排出量の削減 目標: 基準年比 4%以上削減(単位生産金額当り)

取組目標	活動項目
電気使用量の 4%削減	・未使用エリアの消灯及び空調の停止
	・省エネ機器への更新
	・省エネ提案制度の推進
重油使用量の 4%削減	・高効率ボイラーへの更新
ガソリン使用量の 4%削減	・アイドリングストップ、エコ運転の実施
灯油使用量の 4%削減	・押し出し機の電源入れ時間、押し出し作業時間/工程の見直し

(2) 廃棄物排出量の削減 目標: 基準年比 4%以上削減(単位生産金額当り)

取組目標	活動項目
不良品発生率 4%削減	・改善活動、品質教育、個別目標管理
廃却ゴムの 4%削減	・押し出し廃却内容の分析、押し出し製造方法見直し
	・ラッピングの貼付厚・研磨代見直し・ゴム横流れ押え改善

(3) 水使用量の削減 目標: 基準年比 4%以上削減(単位生産金額当り)

取組目標	活動項目
節水活動の推進	・バルブの吐出量調整
	・給水管の点検
	・冷却水の水量の見直し

(4) 化学物質の適正管理

取組目標	活動項目
使用量管理の徹底	・品種ごとの使用量、在庫量の把握
	・目で見る管理の推進

(5) グリーン購入・調達

取組目標	活動項目
購入/調達の推進	・事務用品、OA 機器の見直し
	・原材料の見直しと客先への提案

(6) 生産効率化の取組み

取組目標	活動項目
生産性向上取組みの推進	・化成品: 生産の平準化、改善活動の推進
	・工業用品ライニング: 加硫前検査の徹底、製造方法の確立、構造物作業手順書の改善

6. 環境目標の実績

環境目標項目 (単位)	当年度(H.26年) 年間目標値	当年度(H.26年)		
		実績値	達成率%	判定
二酸化炭素排出量の削減 (g-CO ₂ /千円)	1,455 4%削減	1,462	100%	達成
電力使用量の削減 (kwh/千円)	1.260 4%削減	1,104	114%	達成
A 重油使用量の削減 (ℓ/百万円)	344 4%削減	350	98%	未達成
ガソリン使用量の削減 (ℓ/百万円)	6.72 4%削減	6.31	106%	達成
灯油使用量の削減 (ℓ/百万円)	13.07 4%削減	11.71	112%	達成
廃棄物排出量の削減 (g/千円)	160 4%削減	156	103%	達成
水使用量の削減 (m ³ /千円)	0.131 4%削減	0.119	110%	達成
化学物質の適正管理	適正管理	適正管理	—	達成
グリーン購入/調達	年間1件以上増	1件増	100%	達成
生産効率化の取組み 化成品(円/hr)	6,679 4%アップ	7,878	118%	達成

二酸化炭素排出量削減において、購入電力の排出係数は、0.369Kg-Co2/kwh(H21年度九州電力)を使用しました

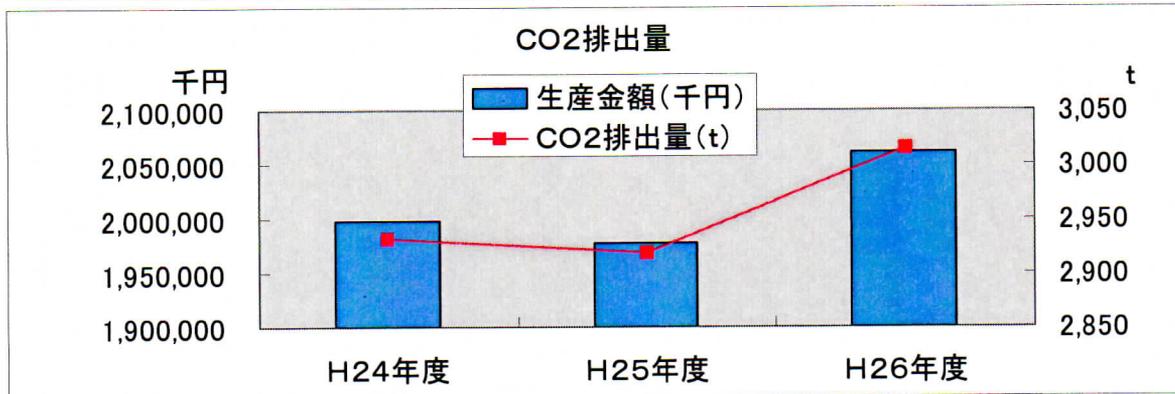
※単位は生産金額当り

過去3年間の環境負荷推移

**当社の二酸化炭素排出量は電力と重油で93%(平成26年度実績)を占めている。

二酸化炭素(CO2)排出量

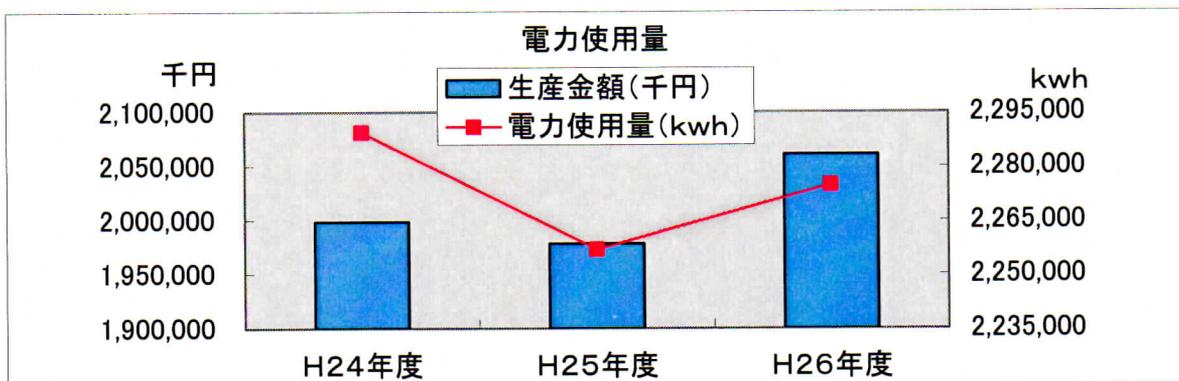
	H24年度	H25年度	H26年度
生産金額(千円)	1,998,367	1,978,249	2,060,875
CO2排出量(t)	2,931	2,919	3,014
CO2原単位(g/千円)	1,467	1,476	1,462



評価：前年度悪化した原単位は生産金額の増加などもあり改善され、原単位は前々年度より更に減少した。

電力使用量

	H24年度	H25年度	H26年度
生産金額(千円)	1,998,367	1,978,249	2,060,875
電力使用量(kwh)	2,289,360	2,256,796	2,274,768
電力原単位(kwh/千円)	1.146	1.141	1.104

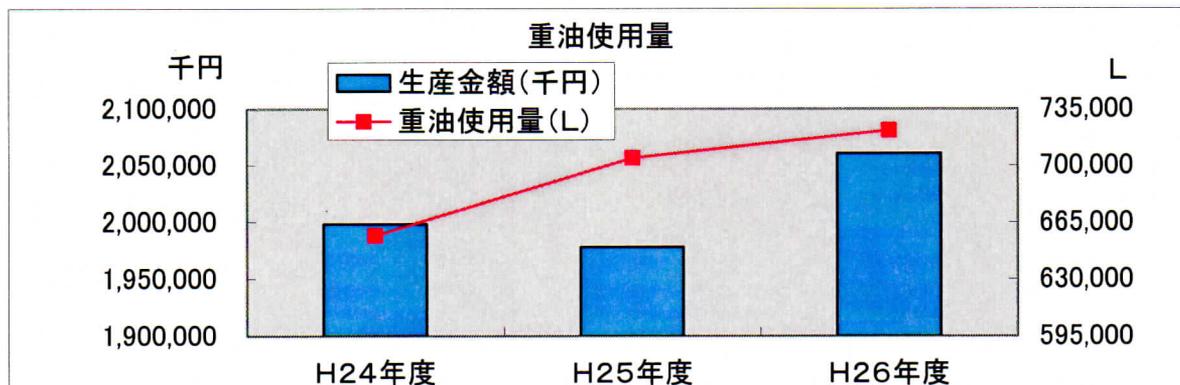


評価：電力使用量は設備更新時に省エネタイプ導入やインバーター化の推進により順調に推移。

原単位も少しずつ改善されている。

重油使用料

	H24年度	H25年度	H26年度
生産金額(千円)	1,998,367	1,978,249	2,060,875
重油使用量(L)	656,600	704,600	721,500
重油原単位(L/百万円)	329	356	350



評価：長時間加硫製品の生産増加やそれに伴う蒸気のロスが増加し重油の使用量が増え重油使用量の原単位悪化につながった。

対策として、来期設備投資で蒸気コントロール装置の導入を計画する。

7. 環境活動計画の取組結果と評価

(1) 二酸化炭素排出量の削減 目標: 基準年比 4%以上削減(単位生産金額当り)

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	評価
電気使用量の4%削減	○	未使用エリアの消灯	○	未使用エリアの消灯や空調の停止、また設備・機器などのインバーター化、更新時には省エネタイプの選定などを行い目標達成。
		省エネ機器への更新	○	
		省エネ提案制度の推進	○	
重油使用量の4%削減	△	高効率ボイラーへの更新	○	ボイラーの高効率タイプへの更新なども行ったが、加硫時間の長期化などで目標未達。
ガソリン使用量4%削減	○	アイドリングストップ、エコ運転の実施、エコカー導入	○	社用車使用の効率化も進み使用量及び原単位が前年より改善され目標達成。
灯油使用量の4%削減	○	押出しの作業時間見直し、作業工程の検討	○	押出し機(CV2)の時季による点火時間の変更を実施、また押出し作業の時間や工程などを見直し目標達成。
		押出し機点火時間見直し	○	



(2) 廃棄物排出量の削減 目標: 基準年比 4%以上削減(単位生産金額当り)

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	評価
不良品発生率4%削減	○	改善活動の取組み、品質教育、個別の目標管理	○	品種によりバラツキもあるが全体では目標達成。
廃却ゴムの4%削減	○	廃却内容分析、貼付厚み管理、研磨代見直し	○	前年はラッピングが目標未達だったが今年度は押出し、ラッピングとも目標達成。

(3) 水使用量の削減 目標: 基準年比 3%以上削減(単位生産金額当り)

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	評価
節水活動の推進	○	バルブの吐出量調整	○	給水管の腐食による漏水が2件発生したが早期復旧できた。冷却水の適量確認もされ、削減目標を達成できた。
		給水管の点検	○	
		冷却水等の水量見直し	○	

(4) 化学物質の適正管理

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	評価
使用量管理の徹底	○	使用量と在庫量の把握	○	適切に管理されている。
		目で見える管理の推進	○	

(5) グリーン購入・調達

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	評価
購入／調達の推進	○	事務用品、OA 機器見直し	○	グリーン購入1件実施で目標達成。
		原材料見直しと客先提案	○	

(6) 生産効率化の取組み

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	評価
生産性向上取組の推進	○	生産の平準化、改善活動	○	納期に影響のない範囲で生産の平準化に取組み生産効率がアップ。目標達成。
		加硫前検査、製造方法確立	○	

その他の活動



緊急事態訓練として、年に2回の消火避難訓練を実施



工場内外の美化活動



加硫缶の耐久性アップ工事



8. 来年度(平成27年7月～28年6月)の環境活動取組みの計画

環境目標	活動計画
二酸化炭素排出量の削減 (電力使用量の削減) (A 重油使用量の削減) (ガソリン使用量の削減) (灯油使用量の削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未使用エリアの消灯及び空調の停止 ・ 省エネ機器への設備更新を推進する ・ 空調室外機熱交換機フィン洗浄 ・ 蒸気コントロール装置 ・ アイドリングストップの励行 ・ エコ運転の実施 ・ 押出し作業時間の検討 ・ 押出し作業工程の検討 ・ 押出し機CV—2電源入れ時間見直し(時期対応)
廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙屑、ビニール屑の圧縮減容化 ・ 品質教育による不良削減の推進 ・ 個別の目標管理による不良削減の推進 ・ 設備保全による不良削減の推進 ・ 押出品の廃却内容を分析、製造方法の見直し ・ ラッピング貼付厚・長さ見直しによる廃却ゴム削減 ・ ラッピングゴム横流れ押え改善による廃却ゴム削減 ・ 練り生地管理による不良率低減 ・ 材料切替え時の押出機内管理による不良率低減
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボイラー給水量の削減 ・ 給水管の点検 ・ 冷却水の水量見直しの検討
化学物質の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品種毎の使用量・在庫量の把握 ・ 目で見える管理の推進
グリーン購入/調達	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務用品のグリーン化推進 ・ 原材料の見直しと客先への提案
生産効率化の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産の平準化 ・ 最適人員配置 ・ 加硫前検査の徹底・製造方法の確立 ・ 構造物の作業手順改善

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りである。

適用される法規制等	適用される事項(施設・物質・活動等)	遵守状況
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ、木くず、廃油)	適
騒音規制法	コンプレッサー、合成樹脂射出成型機	適
振動規制法	コンプレッサー、合成樹脂射出成型機、ゴム練りロール機	適
水質汚濁防止法	特定施設:直接加硫缶、重油貯蔵施設	適
大気汚染防止法	ボイラー	適
悪臭防止法	キシレン、MIBK	適
容器包装リサイクル法	「まな板」の包装資材	適
工場立地法	9,000 m ² 以上の工場敷地	適
消防法	危険物施設、火災報知器、消火設備、指定可燃物貯蔵庫	適
化管法	第1種指定化学物質(トルエン、キシレン、チウラム、N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド)	適
毒物及び劇物取締法	毒物、劇物、特定毒物(トルエン、キシレン)	適
下水道法	50 m ³ /日以上を排出する事業場	適
フロン排出抑制法	冷媒としてフロン使用の業務用機器	適
土壤汚染対策法	水濁法特定施設工場跡地 ※H25年6月(財)福岡県すこやか健康事業団による第1種特定有害物質11種(塩素系有機溶剤等)、第3種特定有害物質(チウラム)の土壤調査実施。工場内13地点の土壤ガス調査、表層土壤調査の結果何れの物質も検出なし。	適
特定工場における公害防止組織の整備に関する法	水質汚濁防止法の汚水等排出施設(直接加硫缶)に対する公害防止管理者(水質)選任	適

平成27年6月に上記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境経営システムは引き続き有効に機能しており、事務局及び各事業部での取組みも、活動が定着してきたと感じるようになった。

ただし、A重油の使用量に関しては、市況の好転により大量に蒸気を消費する商品が増加したため、目標基準値策定時点との乖離が表面化してきたようであるが、当面基準値の見直しは行わず、設備面での対策を講じながら推移を見守りたい。

よって、環境方針や環境経営システム等は変更せずこのまま継続して環境活動に取り組んで頂きたい。

